

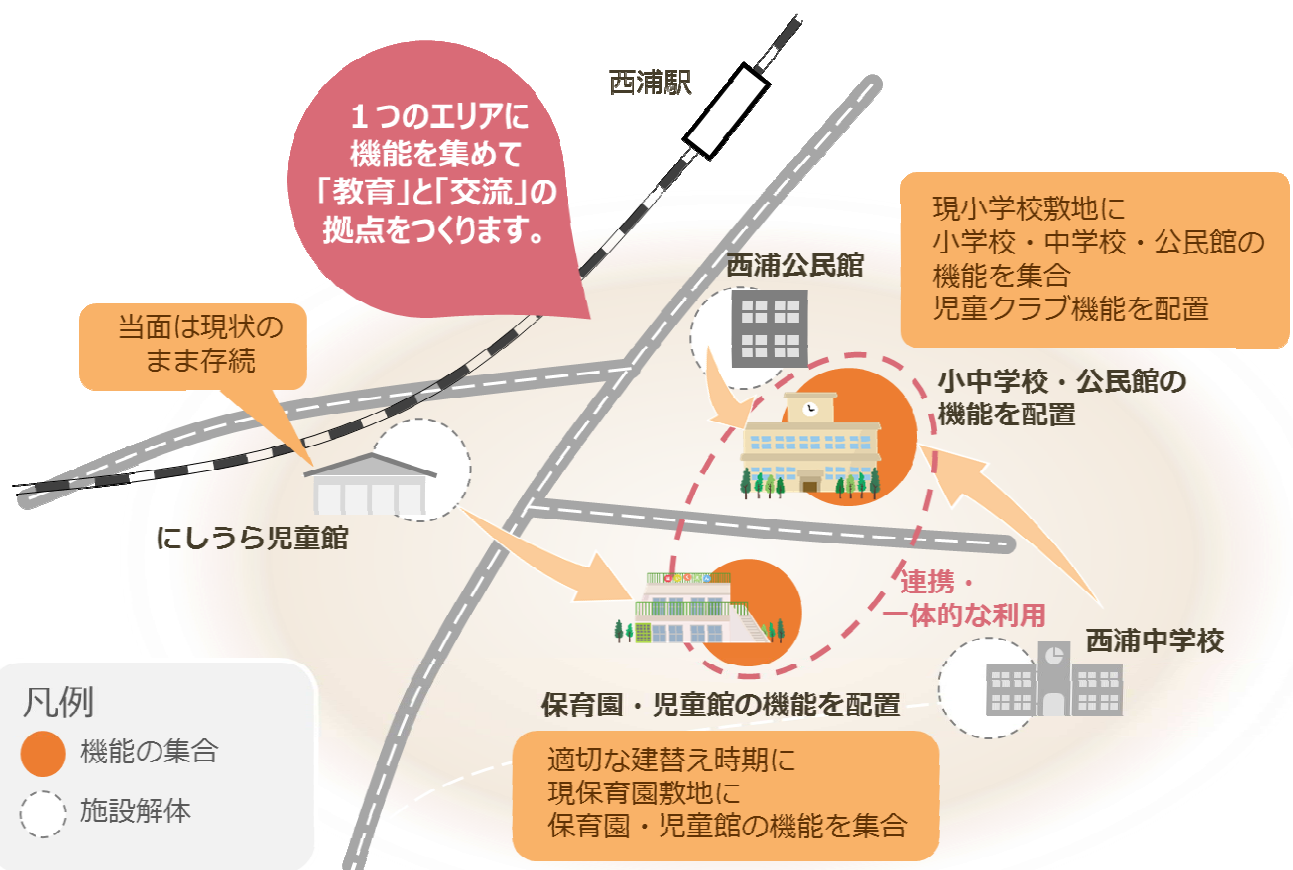
蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく 西浦地区個別計画

コンセプト

機能を集めてつながりを持たせ、「教育」と「交流」の拠点をつくる

施設再編の内容

- 現西浦小学校と現西浦保育園の敷地を活用し機能を集め、互いにつながりを持たせることで「教育」と「交流」の拠点を形成します。
- 小学校・中学校・公民館の機能を現在の西浦小学校の敷地に集合させます。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- 現西浦保育園及び現にしうら児童館は、施設が比較的新しく活用できるため、当面は現地に残し、適切な建替え時期に現在の西浦保育園の敷地に機能を集めさせて整備します。



期待される効果

教育環境の充実

- 小学校と中学校の併設により、授業の連携や教職員の交流がしやすくなり、児童生徒がより充実した教育を受けられる。
- 学校規模の拡大により児童生徒が互いに見習いあう環境が充実する。
- 小中の連携がしやすくなり、学校行事を一緒に行うなど盛り上がり期待できる。
- 中学校が高台の下に移ることから、中学生が通学しやすくなるとともに、人目につきやすくなるため安全性が高まる。

子育て環境の充実

- 児童クラブを小学校と同じ敷地に設置することで、交通事故などの移動時の危険が無くなるうに、地域サークルとの連携など活動の充実が期待できる。
- 児童クラブと保育園が近くにあることで、保護者による送迎等の負担が軽減する。
- 保育園と児童館の機能の集合により、互いの施設の様子が見えるようになり、未就園児の保護者にとって安心感が高まるなどの効果が期待できる。

交流の活性化

- 利便性の高いエリアに日常的に利用される施設が集まることで、活動の連携がしやすくなり、地区住民同士の交流や年齢の近い子ども同士の交流が活発になる。
- 地区の行事や活動の際に、体育館やグラウンドなどの学校施設を利用しやすくなり交流機会が充実する。

活動の拡大・充実

- 施設や設備の相互利用や運営面での連携により、特別教室での地域活動など、各施設の活動の幅が広がる。
- 高齢者が小中学生に地域の伝統文化について語る機会など、利用者の活動機会が増える。

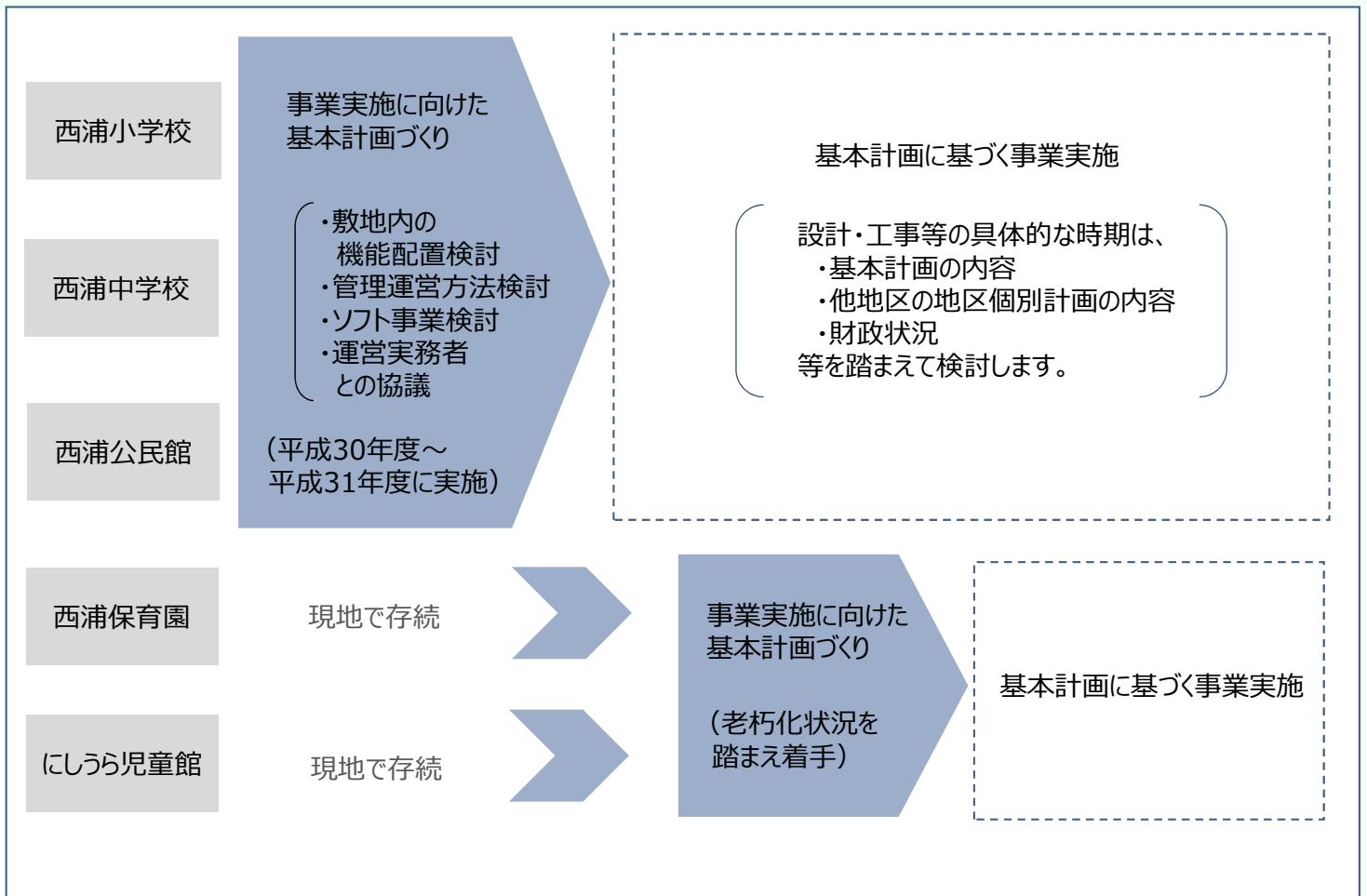
費用の縮減

- 施設の共用や規模の適正化により維持更新費用が縮減できる。また、運営の効率化や一元的な管理により、運営面での費用の縮減が可能となる。

- 詳細な検討を行う中で、駐車場・グラウンドなど、必要な機能を確認し、機能の維持に努めます。
- 施設再編後の学校教育のあり方や方法について、教育委員会が主体となり、9年間を見通した教育を軸に検討します。
- 子どもの安全確保や学校教育に支障が出ないよう十分に配慮して、施設の設計や運営方法の検討を進めます。
- スペースの相互利用や運営での連携が円滑に行われるよう設計上の工夫を行います。
- 学校と地域の連携を深め、交流を促進できるよう、人員体制や運営体制を整えます。
- 西浦保育園及びにしうら児童館の機能の集合・建替えの時期について、施設の老朽化状況、財政状況等を踏まえて検討します。

整備を進める上で
配慮すること

施設整備についての今後の取り組み



本計画の見直しについて



- 本計画は、今後の社会状況、経済・財政状況、ニーズの変化に対応するため、見直しを行い内容を変更する場合があります。

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく西浦地区個別計画

発行 愛知県蒲郡市
愛知県蒲郡市旭町17番1号
TEL 0533-66-1111 (代表)

発行年月 平成30年8月



地区の皆様の思い

蒲郡市では、小中学校・保育園・児童館・公民館の再編にあたり、地域の特性や特徴を施設に反映し、再編がまちづくりにつながるように、地区の住民の皆様のご意見を伺う機会を設け、市民協働により、中学校区を単位とした「地区個別計画」を策定することとしています。

西浦地区の皆様のご意見を伺う機会として、「西浦地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を平成29年9月から平成30年2月にかけて開催しました。また、オープンハウス（パネル展示型説明会）を地区内3会場で開催し、ワークショップ参加者以外のご意見を広く伺いました。

地区の皆様のご期待をもとにして、市は、この「西浦地区個別計画」を策定しました。

以下は、西浦地区の将来を考える上で重視することとしていただいたワークショップに参加された皆様のご意見です。

教育

- 公共施設の再配置はよりよい教育環境を実現するチャンスだ。

施設の連携

- 小中学校・保育園が1ヶ所にあると、運動会などの学校行事が合同行え、盛り上がる。

- 異なる年齢で一緒に学校に通えると便利。

- いろいろな人と接し、競争の機会がある環境のほうが、子ども達の成長にとって好ましい。

多世代交流

- お年寄りの存在が子どもの教育により影響を与えることがある。
- 少子化・核家族化の時代なので歳の離れている子ども達や子どもと大人・高齢者が交流する機会が増えることは有意義だ。

学校と地域のつながり

- 学校と公民館・地域交流スペースの複合で学校と地域住民の交流を増やせる。

地域の拠点

- 小学校と保育園が一緒にあった頃のような一体感のある施設作りが望ましい。
- 1ヶ所に施設が集約されると西浦のランドマークになるし、情報も伝わりやすく、一体感が生まれる。

地域・交流の

拠点

高齢者の居場所

- 高齢者のコミュニティの場や生きがいづくりが出来るとよい。
- 学校へのボランティアなど高齢者の活躍の場を作るべきだ。

施設の連携

- 2つの施設が隣接するとイベント時の駐車場の融通など連携がとりやすい。

子どもを預けやすい環境

- 児童クラブが小学校と離れていて不便なので小学校の敷地に移転して欲しい。
- 子どもを預けやすい、働きやすい環境を整える。

子育て

- 児童館では乳幼児が元気に遊んでおり、子どもにとって充実した遊びの環境を増やしたい。

子ども達の安全

- 中学校の敷地周りは街灯や民家が少なく、防犯上好ましくない。

通学の利便性

- 小学生が西浦中学校の場所まで通うのは坂があり大変だ。
- 徒歩や自転車で安全に通学できるように通学路の整備が必要だ。

施設へのアクセス

アクセスしやすい場所

- 丘の上に公民館機能を移転させることは、高齢者の利用を考えると大変で無理がある。

施設の相互利用

- 学校の空き教室などを地域の活動に活用できるとよい。

施設の有効活用

- 比較的新しい施設は活用して欲しい。
- にしうら児童館は新しいので壊す必要がない。

機能が集中しすぎない

- 1ヶ所に施設を集約するとそれぞれの施設の広さを十分確保できるのか心配。

- ◆ ワークショップでのご意見の詳細やオープンハウス（パネル展示型説明会）でのご意見等は、市ホームページに掲載しています。